

2008 年度活動結果報告

1. 総括的な活動結果と会員数の推移

2008 年 6 月の総会において、在宅支援活動に注力すること、枚方拠点と交野拠点への分離独立の推進、NALC 15 周年記念事業への積極的参加、ナルクシニア介護サポーター養成講座の展開、時間預託点数寄付および寄付金制度の実施、などを目標に掲げました。これらについて、振り返ってみますと次のとおりです。

(1) 枚方・交野拠点の枚方拠点と交野拠点への分離独立

会報「ナルク」2007 年 1 月号で、5 年以内に 300 拠点・会員数 6 万人にするという高畑試案が提唱されました。これを受けて 2 カ月後の 3 月に当時の枚方・交野拠点としての課題である枚方および交野の分離独立を検討すべく組織委員会を立ち上げました。その後、1 年半余りにわたる関係者の多大な努力により、昨年 10 月 4 日に開催された臨時総会においてそれぞれの分離独立が承認され、11 月 1 日新生交野拠点が誕生しました。交野拠点、枚方拠点にとって新たな歴史が始まりました。

(2) 在宅支援活動

会員相互扶助活動、中でも在宅支援活動がナルク活動の柱であることは、ご存じのとおりです。提供依頼を受けて断るケースは発生していませんが、提供希望者が少ないことは依然続いています。後述の(6)項で取り上げた寄付制度には、活動初心者とりわけ在宅支援初心者を後押しする制度も盛り込まれていますが、活用には至りませんでした。

(3) NALC 15 周年記念事業への積極的参加

ナルクの 15 周年は、「天の川クラブ」の 15 周年でもあります。開催 10 か月前の昨年 7 月から、演芸演目選定(チア・リーディング)・練習開始を皮切りに準備作業が始まりました。年度内に枚方拠点および交野拠点への分離独立が、予定されていたこともあり、姉妹拠点として共同参加体制で進めました。

ナルク中山道エコ・ふれあいウォークへ①の参加募集、それに呼応して関係 6 施設への記念植樹②の実施。会報・ホームページコンテスト更には拠点紹介パネル展示への拠点としての参加決定。京都会館第 1 ホールでの観客やチア・リーディング盛り上げ隊、記念パーティーへの参加募集、など。両拠点挙げての推進体制のもと参加促進を図った結果、枚方、交野両拠点から、行事全般に 203 名(枚方:169 名)がエントリーしました。内、京都会館での行事に 182 名(同:156 名)が、中山道ウォークに 81 名(同:64 名)が、登録しました。

中山道ウォーク①と記念植樹②は、5 月 24 日までに成功裡に無事終了しました。一方、5 月 25 日予定されていたそれ以外の行事は、新型インフルエンザ感染拡大により一旦延期されました。

しかしその後、当初の要領で 8 月 10 日(月)に京都会館中心に開催されます。再確認の参加募集を行いますので、奮って参加しましょう。

(4) 地域包括支援センターとの連携

機会あるごとに、接触を図り連携を強めています。特に地域包括支援センター(社会福祉協議会)および楠葉生涯学習市民センターの呼びかけに呼応して、地域の各種団体・個人・行政を交えてのネットワーク「枚方市くずは地域懇談会」の設立に参

画しました。これは、2007 年 11 月さわやか福祉財団主催で開催された「地域包括ケアセミナーin 枚方」の一成果と考えています。

(5) ナルクシニア介護サポーター養成講座

これも、交野拠点との共同企画で 6 名の有資格リーダーにより年度後半に 2 回開催され、60 名（内、枚方 51 名）が研修を修了しました。今後活動の場あるいは家庭でそれぞれ知識・技能が生かされることでしょう。

(6) 時間預託点数寄付および寄付金制度

本制度は、すでにお知らせのとおり、昨年 9 月に発足し会報「天の川」12 月号でその詳細が発表されました。すでに、多くの方から点数の寄付が寄せられ、活用が始まっています。

(7) 会員活動の促進

年々より多くの会員の皆さんが、地区会・『秋のつどい』・日帰りバス旅行・活動区分別交流会などに積極的に参加いただき、「天の川クラブ」としての活動が一段と広がりを見せました。また、コーディネーター研修・シニア介護サポーター養成講座などで、それぞれ研鑽に努めていただきました。

2. 時間預託活動(会員相互扶助活動・福祉施設支援活動他) 担当 近藤秀子・三津輝雄
2008 年度の時間預託活動実績は 10,976 点となりました。

預託点数の利用は 474 点でした。現在の会員は元気にしておられる方が多いためと推測します。今後、高齢化に伴い利用が増えてくることと思われ、現状でも家事支援活動の提供者が少なく、相互扶助活動の将来を考察しますと会員の家事・介助への積極的な活動が望まれます。

主な活動としては、次のとおりです。

(1) 会員相互扶助活動

会員相互扶助活動の実績は、3,346 点（計画比 464 点減）でした。家事援助（1,489 点）の新規利用者は少なかったが、今後は増えてくると予想されます。送迎（809 点）は新規利用者があり、活動点数が増えました。高齢化が進んでいると言えるのではないのでしょうか。庭の手入れ（639 点）は定期的な利用者が多いので提供者、利用者の情報を整理し、スムーズに提供できるよう努めました。パソコン（318 点）はトラブルに関する依頼が多く、電話での相談が増えています。ハウスヘルパー（89 点）は順調に活動できました。

(2) 福祉施設活動

福祉施設活動実績は、4,971 点（計画比 449 点減）でした。交野地区の「きんもくせい」および「天の川明星」の 11 月以降の活動が交野拠点へ移管されたため減少しました。サンセール香里園（1,728 点）は新規の活動（フロアーの手伝い）が毎月の活動となり増加しました。エイジフリー・ライフ星が丘（2,547 点）は、ほぼ計画通りでした。両施設とも提供者の交流会を実施したことにより、活動者の絆が深まり活動上の問題点を認識することができました。

3. 奉仕活動

担当 平山紘一郎

奉仕活動点数は合計 10,825 点となり、計画比 1,825 点の増となりました。内容としては、①日頃から接触のある福祉施設での定常的、或いはスポット的支援活動、②

「クリーン・アダプト」(公園2カ所の清掃活動)、「アドプト・リバー・NALC天野川」(かささぎ橋から天野川新橋までの両岸の清掃活動)などの環境美化活動、③ふれ愛・フリースクエア(遊びの玉手箱と竹細工)や子どもの安全見守り隊などの子育て支援活動、④その他、地域各種のボランティア活動への積極的参加を通しての地域貢献、またNALC「天の川クラブ」運営のための各種支援活動などを通じて、会員各自も生きがいを得、自己実現を果してきました。主なものは、

- (1) 福祉ボランティア(1,758点)では、「サンポエム」ディサービスセンターでの定常的活動は1999年以来続いています。「エイジフリー・ライフ星が丘」「ひらかた聖徳園」では、季節毎のスポット的に催されるイベントの支援活動が活発に行われました。
- (2) 子育て支援(1,496点)として、「遊びの玉手箱」・「竹細工チーム」共にそれぞれ各小学校からのリクエストに応じて「ふれ愛・フリースクエア」として活動が定着しています。志希自然小学校は、毎月2回継続されています。子供の安全見守り隊は、各地域でグループ或いは個人レベルで続けられています。
- (3) 環境活動(664点)として、「アドプト・リバー・NALC 天野川」「クリーン・アダプト岡東中央公園」「クリーン・アダプト楠葉中央公園他」それぞれ毎月2回実施しています。また、枚方市が11月に主催する「天野川大清掃」にも積極的に参加しています。
- (4) その他活動と「天の川クラブ」内活動(6,907点)、上記以外の奉仕活動として各種会議、事務処理、また毎月の会報の手配りなどがあります。

4. 事業活動

担当 野村文夫

NALCの理念「自立、奉仕、助け合い、生きがい」を枚方拠点において達成するための活動を資金面で支援するとともに、枚方市の「軽度生活援助事業」、高齢者の生きがい支援活動としての「生きがい創造学園」および「生涯学習情報プラザ」の運営に寄与するための活動です。

(1) 軽度生活援助事業

枚方市との契約による受託事業で、枚方市民(非会員)宅の家事援助を行っています。2008年度の利用者は、年初15名で推移、3月末現在9名が対象で、利用回数が減少しています。

利用者：16名→9名 提供者 48名

(2) 生きがい創造学園

生きがい創造学園受託事業は、市民が自由に学び「生きがい」にチャレンジする暮らしづくりに向けて、各種の講座を実施している学園で、受託してから6年を経過しました。順調に運営してきましたが、新しい講座やその内容についての要望にさらに応えてゆくため検討を重ねてきました。

(3) 生涯学習情報プラザ

生涯学習情報プラザ委託事業は受託してから4年を経過しました。パソコンの利用スキルの向上、情報の提供等による枚方市民の情報力の向上を目指して、受託施設および設置設備(主としてパソコン)の維持管理活動、パソコンミニ体験講座等により未経験者のパソコン体験援助とスキル向上活動をしています。2008年度は、子

供達のための「楽しいパソコン教室」をテスト的に実施し好評でした。

5. 文化・スポーツ活動

担当 石西正子

2008年度は、文化活動8クラブ、スポーツ活動4クラブの計12クラブが活発に活動し、延べ約2,400名（前年比105%）の多くの会員が参加し、交流と親睦を深めました。なおこれらの内、文化・スポーツ活動クラブとして「マジック友の会」とふれあい散策クラブ「カワセミ」が、12月に発足し活動を開始しました。

6. 会員活動の促進

担当 上田卓是

「天の川クラブ」の会員数は、年度初めに900名を超え、年度途中での交野拠点分離独立で170名弱減少したものの、年度末では800名近い大所帯であり、以下に述べる色々な角度からコミュニケーション並びに活動の活発化を図ってきました。

（1）地区会

年2回開催がほとんどの地区で定着し、各地区趣向を凝らし前進が図られました。ただ、開催頻度の少ないまたは参加者の少ない地区については、一層の努力が望まれます。

（2）会員研修

今年度から始まったナルク介護サポーター養成講座は2回開催され（修了者：51名）、コーディネーター研修も役割演技を取り入れるなど、より活発な研修ができました。これらの研修は、いずれも交野拠点との共同開催で行われました。

（3）イベント

6月の定時総会では、篠笛・琴の演奏と南京玉簾それぞれ名演を楽しみ、10月の『秋のつどい』は、交野分離独立直前となり、交野・枚方両拠点の今後の発展を祝う集いとなりました。11月には、岡山閑谷学校他への日帰りバス旅行も満席で行われました。

（4）活動区分別交流会

当活動は2年目を迎え大小さまざまなグループで本格的に始められました。多くの参加者、とりわけ日頃相互接触の少ないグループの交流会参加者から、高い評価を受けました。

7. 事務局活動

担当 和田亮吉

第14回の定時総会において事務局長の交代が承認され6月から新たに活動がスタートしました。

2008年度の活動計画に掲げた事務処理の効率化については、パソコンの追加購入と事務局スタッフの補充を行い各自の業務分担を明確にし、事務処理の効率化を図りました。また、老朽化した空調設備の更新も行い事務所の環境整備を行いました。

新会員に対しての説明・懇談会も定期的に行われ、NALC「天の川クラブ」の活動に寄与していただくよう努めました。

2008年11月には交野地区が分離独立し、姉妹拠点として相互提供活動が行われたため、事務局も拠点間の事務処理マニュアルを作成しました。

【活動結果】

	2004	2005	2006	2007	2008	2008 (交野合算)	2008 (計画)
会員数（名）	697	743	815	903	772	970	990
時間預託活動（点数）	6,246	7,514	8,541	10,863	10,976	11,989	12,000
奉仕活動（点数）	9,317	9,397	9,797	9,014	10,825	11,616	9,000
文化・スポーツ活動参加（人数）	1,400	1,988	2,190	2,229	2,400	2,400	2,300

注：文化・スポーツ活動参加の合算値には、交野の数値を含まない。

活動実績経過と会員数

